

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：秋どりチンゲンサイの優良品種選定（第62回千葉県野菜品種審査会）			
〔要約〕 県内における秋どりチンゲンサイの栽培には、芯止まりが少なく、外観品質が良好で収穫物の揃いの良い「N-59」、「N-57」、「涼武」、「IN-BP146」、「YCH-1」の5品種が適している。			
キーワード [※] チンゲンサイ、秋どり栽培、品種比較、耐暑性、品種審査会			
実施機関名 主 査 農林総合研究センター 水稻・畑地園芸研究所 東総野菜研究室 協力機関 日本種苗協会千葉県支部、生産振興課、JAちばみどり、 海匠農業事務所			
実施期間 2014年度			

〔目的及び背景〕

千葉県におけるチンゲンサイの作付面積は85haであり、東葛飾・海匠地域を中心に県下で広く栽培されている。近年、主要作型の夏秋栽培（8月下旬～9月播種）において、高温による障害発生や病害の発生が増加しており問題となっている。そのため、夏秋作型における耐暑性・収量性に優れた品種を選定する。なお本試験は、第62回千葉県野菜品種審査会（チンゲンサイの部）として実施する。

〔成果内容〕

- 第62回千葉県野菜品種審査会（チンゲンサイの部）において審査した17品種のうち、入賞となった上位5品種は、外観品質が良好で収穫物の揃いの良い「N-59」（（株）野崎採種場）、「N-57」（（株）野崎採種場）、「涼武」（（株）サカタのタネ）、「IN-BP146」（渡辺農事（株））、「YCH-1」（八江農芸（株））である（表1）。
- 入賞した5品種は、発芽後の生育が良好で、育苗時の高温が原因と考えられる芯止まりの発生が少ない（表2）。

〔留意事項〕

チンゲンサイの育苗はサイドに防虫ネットを展帳したパイプハウスで行い、パイプハウスに定植、栽培した。外気温は生育期間を通して平年値よりも低かったが、育苗期間中の8月第6半旬から9月第2半旬までは日照時間が長く推移した。このため、ハウス内の気温は高くなり、芯止まり株の発生を助長したと考えられる。

〔普及対象地域〕

県内全域のチンゲンサイ栽培者

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 審査結果

順位	出品番号	審査得点			品種名	出品社名
		立毛	収穫物	合計		
1	6	65.4	97.8	163.2	N-59	(株)野崎採種場
2	12	62.7	96.5	159.2	N-57	(株)野崎採種場
3	8	61.6	95.3	156.9	涼武	(株)サカタのタネ
4	1	60.4	95.7	156.1	IN-BP146	渡辺農事(株)
5	10	59.8	96.0	155.8	YCH-1	八江農芸(株)

注1) 平成26年8月26日にセルトレイ128穴に1粒播種し、9月11日にベッド幅150cm、株間20cm、条間20cmでパイプハウス内に定植、審査は10月10日に行った

2) 審査得点は「立毛」「収穫物」ともに100点満点、合計は200点満点

表2 定植時の芯止まり発生株数及び発生株率

出品番号	芯止まり株数		芯止まり発生株率 (%)	品種名
	A	B		
1	7	10	12	IN-BP146
2	16	14	23	
3	38	37	55	
4	16	13	22	
5	39	40	58	
6	1	2	2	N-59
7	1	3	2	
8	2	1	2	涼武
9	31	21	41	
10	8	4	10	YCH-1
11	22	26	34	
12	1	1	1	N-57
13	15	15	22	
14	9	15	16	
15	31	21	41	
16	0	0	0	
17	5	0	5	

注1) 平成26年8月25日にセルトレイ128穴に1粒播種し、サイド解放のパイプハウスで育苗、9月11日定植した
 2) 10a 当たり施肥成分量は、窒素8kg、リン酸8kg、加里8kgとした
 3) 芯止まり株数は、定植後128セルトレイに残った40株を9月17日に調査した
 ただし、4Aは32株、4Bは38株、9Bは31株を調査した
 A、Bは反復を示す
 4) 芯どまり発生株数は、定植株を含む全株数に対する割合を求めた



1 位 N-59 (株野崎採種場)

[発表及び関連文献]

[その他]